2014年度山岳医講習会「東京クラスタII　高所登山トレッキング医学・山岳救助実践」

に参加される皆様

以下に最終プログラムをお送りします（大切な変更点を赤で示しています）。

■もっとも大きな変更点は会場です。西新宿にある東京医科大学臨床第２講堂に変更になりました。添付の地図をご参照ください。ちょっとわかりにくいところにあります。間違いがないようにこのメイルを受け取ったことを返信ください。

■新しい講師が加わっています。中川裕さんです。日本ヒマラヤ協会常務理事の中川さんには、ヒマラヤにおける日本人登山者全死亡例の解析から「ヒマラヤ登山における日本人登山者遭難死亡原因は変化しつつある」ことをお話しいただきます。

■第二部の高山先生は、時間の都合で午前に回っていただきました。内容的には第二部そのものなのですが。

あとは変化ありませんが、時間を確定しました。講師の先生には時間厳守をお願いしましょう、遅くなるとその日のうちには帰れなくなる可能性のある方々が、九州や北海道から参加されています。

2014年11月09日  
日本登山医学会山岳医講習会東京クラスタII運営責任者　増山茂  
[dimmtokyo2@jsmmed.org](mailto:dimmtokyo2@jsmmed.org)  
  
  
＊＊＊＊＊＊＊プログラム＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  
■日時：2014年11月 16日（日）9:00-18:00  
■場所：東京医科大学臨床第２講堂（変更になりました。別紙参照）  
  
■プログラム  
東京クラスタII　高所登山トレッキング医学・山岳救助実践  
  
I　　高所・寒冷などに関する実践的山岳遭難事例検討  
0900-0930 １．睡眠時無呼吸症候群患者、高所滞在の問題点　　増山茂（東京医科大学）  
0930-1030 ２．登山者検診ネットワーク：問題事例の検討　　原田智紀（日本大学医学部）  
1040-1110 ３．御嶽山水蒸気爆発の現場：DMAT出動報告　　　上條剛志（相澤病院）  
1110-1140 ４．長野県の山岳遭難死亡件数は交通事故死に迫る　近藤幸夫（朝日新聞）

1140-1210 ５．エベレスト登山を目指す高齢登山者の問題点　　高山守正（榊原記念病院）  
  
II　現代ヒマラヤ登山トレッキング事情  
1300-1320 １．スポーツに伴う死亡：ヒマラヤ登山トレッキングの危険性　増山茂（東京医科大学）

1320-1340 ２．ヒマラヤ登山における日本人登山者遭難死亡原因は変化しつつある　中川裕（日本ヒマラヤ協会常務理事）  
1350-1430 ３．テレビメディアが変える現代ヒマラヤ登山　　貫田宗男（WEC)  
1440-1530 ４． ヒマラヤ高峰登頂を安全にした国際的山岳気象予測の進歩　猪熊隆之（ヤマテン）  
  
III　学術的諸問題  
1540-1630 １．国際医療搬送事情update　　　　　二宮宣文（日本医科大学）  
1630-1700 ２．低酸素応答システム：Hypoxiaの分子生物学的理解　　三浦裕（名古屋市立大学）  
1710-1750 ３．カラコラムから南極へ　　　大江洋文（伸裕会渡辺病院）

以上